

2023 年度 事業計画書

学校法人 悠久崇徳学園

長岡崇徳大学

上越看護専門学校

I 学校法人悠久崇徳学園 事業計画の概要

1. 悠久崇徳学園 法人全体

悠久崇徳学園が運営する長岡崇徳大学は今年、初めての卒業生を社会に送り出すことができ、大学完成年度を迎えた。上越看護専門学校については、開校16年目となるが看護師希望者の減少傾向もあり、定員充足について厳しい状況にある。

現在、学校法人経営を取り巻く環境は少子化により18歳人口が112.1万人(2022年)から100.6万人(2034年)へと12年間で11.4%(11.5万人)減少することが見込まれる。

また、学生の進学状況に目を転じれば、大学への進学率は約5割(短大、高専、専門学校も含めると約8割)とある。

さらに、景気の観点からは2023年も食料品、水光熱費のさらなる値上げが続く見込みであり、家計への負担増が影響しており、世帯収入が少ないほど大学進学を希望する割合も低く、この傾向は私立大学において特に顕著である。

次に県内の看護師を育成する学校の状況については、2020年県立十日町看護専門学校(定員40名)、三条看護・医療・歯科衛生専門学校(定員40名)、2023年新潟薬科大学(定員80名)と創設が相次ぎ、2024年には北里大学保健衛生専門学院が4年生大学となる予定である。

さらに、既存の長岡市内の看護専門学校3校(定員170名)もあり、過当な競争を強いられている。

このような中、社会の変化に伴い、看護大学の進学希望者は減少し、看護専門学校への進学にシフトしている傾向となっている。

この結果、2023年の当学園新規入学者状況も下記のとおりである。

長岡崇徳大学46名(昨年度比-30名)、上越看護専門学校38名(昨年度+13名)となっている。

今後、看護師育成する学園経営は極めて厳しくなっていくため、速やかに学生の進学動向の情報収集・分析を多面的に行い、具体的な対策を立て実践する必要がある。

このことから、今年度は、学生の定員充足率向上は喫緊の課題であり、併せて学校法人のコンプライアンス経営の強化に努め、健全な財務体の確保を目標に学園の継続と発展ができる管理・運営体制の確立を重要課題と位置付ける。

(1) 設置学校の定員充足率の向上に向けた取組

- ・過去4年間の入学志願状況等(志願者数、受験者数、合格者数、入学者数、定員充足率)の分析を多面的に行い、大学充足率90%、上越校95%を目指す。
- ・これまでの広報活動の実績(オープンキャンパスの来場者数、大学案内及び学生募集要項の資料請求者数などのうち何%、何人が入学したか、広報費との関係等)に関する分析をし、競合校の受験時期、入学手続時期との関係を明確にし、対策を実施する。
- ・学生募集のため、学園の魅力や養成する人材像、奨学制度などの修学支援の内容、就職支援の内容、卒業生が出た高校訪問等や資格取得率を前面に出した広報活動を行う。

- ・学生の経済的支援の充実を掲げ、入学時等の支援だけでなく教育費等への支援及び返済助成制度、奨学金の在り方等を検討する。

(2) 財政基盤の強化と経費支出適正化の法人のガバナンス強化

- ・大学の完成年度以降の運営体制・収支構造から、より効果的な統制体系を確立するため、社会のニーズを踏まえた経営と厳格な資金管理等を行う。
- ・公認会計士及び監事監査、内部監査による内部統制の充実を図る。
- ・PDCA サイクルを活用し、法人全体で入学定員の確保による財政基盤の強化と、前述の新体制下での学園運営の質の向上を図るとともに、経費支出の適正化を実施する。
(経常費予算コスト削減、予算執行・管理の厳格化、寄付金の獲得等)
- ・ガバナンス強化に向けて、法人の経営改革を着実に進める。
 - ①社会のニーズを踏まえた大学法人運営の規律強化。
 - ②監事の監査体制の強化を図る等の制度改正を踏まえた法人運営を着実に進める。
 - ③学園のガバナンス統治と社会的責任の追及。
学校法人の沿革や多様性にも配慮しつつ、かつ、社会の要請にも応え得る、実効性ある改革を実施する。

(3) 学校法人の組織体制を見直し、戦略的な組織づくりによる取組み実施

- ・新たな組織体制づくりによる一体感の醸成と人的配置の最適化実施。
 - ・コンサルタントを活用した強い組織体制づくりとブランディングに向けた取組の実施
- ※ブランディング戦略とは、学園のブランドイメージを学生などからどのように持たれたいかを決め、戦略を立てて取り組んでいくことを指します。ブランドに対する認知度を広げて、学園のサービスの価値をより高めていき、学生などとの関係を長期にわたって良好なものにするために行う。
- ・人事考課制度導入による教職員の能力と意欲を向上させるための人材育成の実施。
 - ・学生向けアンケートによる課題の明確化と早期改善実施。

(4) 学園・地域の連携・協働による教育の推進

- ・学園と地域が連携、協働し、地域社会との多様な関わりや体験・交流の機会を得られる取組を推進する。
- ・情報開示を積極的に行い地域社会、利用者等からの評価を得て、看護教育成果の社会還元に努め、地域社会等への貢献を積極的に行う。

(5) 崇徳厚生事業団との連携推進

- ・崇徳厚生事業団の一員として、積極的に連携推進を行う。

2. 長岡崇徳大学

(1) 目標

- ・学生の主体性と自律性を育む教育を展開する。
- ・教職員の協働力を高め、委員会活動の活発化と効率化を図る。
- ・研究活動を促進させ、外部資金獲得へ向けた取り組みをする。
- ・看護の専門性を高める教育を推進していく。

(2) 教育課程

- ・教育目的・目標を達成するために、令和4年度に見直しをした、教育課程に則り、ディプロマポリシー・カリキュラムポリシーに則した教育を行うとともに、「保健師助産師看護師学校養成所指定規則」に準拠した教育を実施する。

(3) 学生の確保

- ・本学の強み・特色を生かし、効果的な広報活動による本学志願者増加を図る。
- ・Web、SNSを活用した、志願者（高校生）に対するPRの充実。
- ・高大接続改革に伴う入試改革について、大学入学者選抜実施要項に基づき、ディプロマポリシー、カリキュラムポリシー、アドミッションポリシーに基づいた学生を受け入れるため、入学希望者の意欲・能力・適性を多面的・総合的に判定・評価した入試を実施する。
- ・Web（本学ホームページ、進学サイト）、SNS（LINE、YouTube）により在学生やWebオープンキャンパス動画などの情報発信
- ・新聞、テレビCMなどマスメディアを利用したOC、入試の告知
- ・オープンキャンパス、入試日程等のタイミングに合わせた高校訪問の実施（新潟県内及び近隣県（山形、福島、長野等）
- ・高校生向けガイダンスへの参加
- ・6月から3月までオープンキャンパス8回開催
- ・公共交通機関を利用したPR（バス放送、電車内広告、JR新潟駅及び白山駅構内のデジタルサイネージ広告）により大学の認知度を高める。

(4) 地域連携

- ・令和5年度において長岡市との連携協定を正式に結ぶことにより、本学の特徴を活かしつつ行政との緊密な連携を図り、人口減少や少子化を見据え、双方が知恵を出し合い、地域と大学がともに発展できる関係を構築する。
- ・新潟県及び県看護協会が推進する「専門性の高い看護職員育成新潟モデル」の構築のため、本学として『認知症看護認定看護師』の教育課程設置に向けて準備を開始し、県内大学及び医療機関との連携を図る。

(5) 安定的な収入確保

- ・ 定員の確保により、学生生徒等納付金及び新潟県補助金の確実な収納を図る。
- ・ 公的研究費などの外部資金の獲得や寄付金などの確保により、収入の安定化を図る。
- ・ 私立大学等経常費補助金の申請を行い補助金の収納を図る。

(6) 資産活用（合理的なリスク管理と運用効率の検討等）人的、物的資産の活用

- ・ 学務システム、会計システム、ワークフローシステムの活用と業務の見直しにより、業務の合理化・効率化を図り、人的資産を有効に活用する。
- ・ 日頃のメンテナンスにより、建物、備品等の故障、修繕の発生を最小限に抑えることにより、支出削減を図る。

(7) 施設設備計画

- ・ A 棟 6 階療育園駐車場側ベランダ手摺補修工事
- ・ B 棟 4 階廊下空調入替工事
- ・ B 棟演習室ベランダ軒天張替工事
- ・ 軽量バランス式シャッター交換工事
- ・ 取水設備（消雪ポンプ小屋）改修工事

(8) 支出管理の徹底

- ・ 予算執行状況を常に把握し、適切な執行を図ることにより、無駄な支出を削減する。
- ・ 備品の共用などにより備品の重複購入を避ける。
- ・ 個人研究費の適正な支出管理を実施する（研究計画の提出及び予算案、研究報告提出を求め、適正な個人研究費の執行をめざす。研究費不正使用防止に向け財務課・内部監査・監事・公認会計士などとの連携によりガバナンスの構築強化を図る）。

(9) 財務予測の分析実施

- ・ 定期的（毎月、四半期毎、半期毎）な予算執行状況の把握により、予算規律を守る。
- ・ 予算編成時のヒアリングにより、効率的な支出バランスを図り、支出を抑制する。

(10) 学生数の現状及び目標

	1 年	2 年	3 年	4 年	合計	定員充足率
2023 年度(令和 5 年)	46	75	73	54	248	77.5%
2024 年度(令和 6 年)	80	46	75	73	274	85.6%
2025 年度(令和 7 年)	80	80	46	75	281	87.8%
2026 年度(令和 8 年)	80	80	80	46	286	89.3%

3. 上越看護専門学校

(1) 入学定員の確保

① 広報活動の充実。

- ・スクールガイドの早期配布を行う。
- ・スクールガイドの内容を充実させ、多くの情報を提供する。
- ・学生支援制度を募集活動に活かす。
- ・隣県への広報募集活動を実施する。
- ・行政と学校が組んで実施する学生支援制度を模索し、募集活動に活かす。

②地域と一体となった取り組みの推進

- ・ボランティア活動の積極的な推進を図る。
- ・教養研修、看護学演習などでも地域の人を巻き込んで実施できるよう検討を進める。

(2) 教育環境の整備

①建物の経年劣化に伴う改修を実施する。

- ・第3 演習室改修、正面玄関ドアフロアヒンジ取替、各室ドアクローザー取替、雨水排水
管通水工事、カイズカイブキ剪定

②教育研究用備品の整備

- ・テルフュージョン輸液ポンプ 1台 (テルモ TA-281A)
- ・テルフュージョンシリンジポンプ 1台 (テルモ TE-381)
- ・看護シミュレーター・医療機器の定期点検を検討する。

③危機管理体制の強化

- ・新型コロナ感染症の5類移行に伴う感染症対策の検討・変更を行う。
- ・上記の感性症対策を学校全体へ周知徹底する。

(3) 教育活動の充実

①実習指導教員との協働の促進

- ・実習指導教員の学習・意見交換会を年1回実施する。
- ・実習指導教員との意見交換会であがった課題を教員会議で共有・検討する。
- ・実習指導教員の役割の再検討を行う。

②教員の教育実践能力の向上

- ・人事考課のコミュニケーションシートを用いて目標の明確化を行い、目標に沿った学
会・研修会・講習会への参加と報告会を実施する。
- ・新人教員への教育体制を充実するため、プリセプター制度を継続する。
- ・研究授業規定により、研究授業・協議会を継続する。

③国家試験対策の強化

- ・チューター制度を継続し、各人に合わせた指導と精神面の支援を行う。
- ・オンラインセミナーを継続し、学習進度に合わせた内容を検討する。

(4) 組織の活性化

①新カリキュラムの運営と評価

- ・ 社会人基礎力・看護実践力のレベル目標の評価を行う。
- ・ 新カリキュラムにおける新設科目の運営と評価を行う。

②職員のモチベーション維持・向上

- ・ 教職員の行事の企画と実施を推進する。
- ・ 各自の目標に則った学会・研修会・講習会への参加を促す。

③ワークライフバランスの充実

- ・ 年休取得率の向上を図る。

(5) 学生数の現状及び目標

	1年	2年	3年	合計	定員充足率
2023年度(令和5年)	38	24	31	93	77.5%
2024年度(令和6年)	40	38	24	102	85.0%
2025年度(令和7年)	40	40	38	118	98.3%
2026年度(令和8年)	40	40	40	120	100%

II 法人の概要

(1) 法人の沿革

1992年4月	社会福祉法人長岡福祉協会長岡福祉専門学院開校。介護福祉学科を設置。
1995年4月	看護学科を設置・併設し、校名を長岡看護福祉専門学校に改称。
2005年4月	学校法人崇徳医療福祉学園設置認可。長岡看護福祉専門学校設置者を同学園に変更。
2008年4月	上越看護専門学校開校。看護学科を設置。
2010年4月	学校法人長岡総合学園と合併し学校法人悠久崇徳学園を設立。設置校は長岡看護福祉専門学校、上越看護専門学校、悠久山栄養調理専門学校、長岡美容専門学校との4校となる。
2014年7月	学校法人悠久崇徳学園から学校法人長岡総合学園が分離。設置校は長岡看護福祉専門学校、上越看護専門学校の2校となる。
2017年4月	長岡看護福祉専門学校 介護福祉学科 入学定員を30名に変更。
2018年8月	長岡崇徳大学 設置認可。
2019年4月	長岡崇徳大学 開学。看護学部看護学科を設置。 長岡看護福祉専門学校看護学科 募集停止（大学新設に伴う）。
2021年3月	長岡看護福祉専門学校看護学科廃科（介護福祉学科単科となる）。
2021年4月	長岡看護福祉専門学校を長岡崇徳福祉専門学校に校名変更。
2022年4月	長岡崇徳福祉専門学校を社会福祉法人長岡福祉協会へ移管。設置者変更予定。
2023年3月	長岡崇徳大学第1回卒業式挙行（卒業生38名）

(2) 設置する学校・学部・学科

設置する学校	設置年月	学部・学科等	修業年限	入学定員	収容定員
長岡崇徳大学	2019年4月	看護学部 看護学科(2019年4月)	4年	80人	320人
上越看護専門学校	2008年4月	看護学科(2008年4月)	3年	40人	120人

(3) 学校・学部・学科等の学生数の状況（2023.3.1時点）

長岡崇徳大学

（単位：人）

	入学定員	1年	2年	3年	4年	計	収容定員	充足率
看護学部看護学科	80	46	76	74	55	251	320	78.4%

上越看護専門学校

（単位：人）

	入学定員	1年	2年	3年		計	収容定員	充足率
看護学科	40	38	24	31	-	93	120	77.5%

(4) 役員概要 (2023. 3. 1 時点)

【定員数】理事 8～9 名 監事 2 名 【現員数】理事 9 名 監事 2 名

【重任後の任期】2022. 5. 30～2024. 5. 29

区分	氏名	常勤・非常勤 の別	就任年月日	重任年月日	選任区分等
理事長	田宮 崇	非常勤	2010. 4. 1	2022. 5. 30	評議員会選任
常務理事	森 啓	常勤	2016. 5. 30	2022. 5. 30	長岡崇徳大学学長
常務理事	内山 聖	常勤	2020. 5. 30	2022. 5. 30	理事会選任
理事	巻 淵 隆夫	非常勤	2018. 8. 31	2022. 5. 30	上越看護専門学校校長
理事	小坂 拓	非常勤	2017. 10. 11	2022. 5. 30	評議員会選任
理事	田宮 由紀子	非常勤	2017. 7. 25	2022. 5. 30	理事会選任
理事	的場 已知子	非常勤	2018. 5. 30	2022. 5. 30	理事会選任
理事	廣川 敢	非常勤	2011. 9. 22	2022. 5. 30	理事会選任
理事	小見 誠	常勤	2022. 5. 27		理事会選任
監事	河上 恭雄	非常勤	2018. 5. 30	2022. 5. 30	
監事	五十嵐 芳人	非常勤	2019. 9. 1	2022. 5. 30	

(5) 評議員概要 (2023. 3. 1 時点)

【定員数】17～19 名 【現員数】18 名

【重任後の任期】2022. 5. 30～2024. 5. 29

区分	氏名	就任年月日	重任年月日	選任区分	適用
評議員	田宮 崇	2010. 4. 1	2022. 5. 30	学識経験者 (理事会選任)	法人理事長
評議員	内山 聖	2017. 10. 11	2022. 5. 30	学識経験者 (理事会選任)	法人常務理事
評議員	廣川 敢	2011. 9. 22	2022. 5. 30	学識経験者 (理事会選任)	法人理事
評議員	的場 已知子	2014. 7. 1	2022. 5. 30	学識経験者 (理事会選任)	法人理事
評議員	佐武 明	2010. 4. 1	2022. 5. 30	学識経験者 (理事会選任)	
評議員	井上 恵	2018. 5. 30	2022. 5. 30	学識経験者 (理事会選任)	
評議員	田中 憲一	2010. 4. 1	2022. 5. 30	学識経験者 (理事会選任)	
評議員	齋藤 智	2019. 9. 1	2022. 5. 30	学識経験者 (理事会選任)	
評議員	小見 誠	2020. 5. 30	2022. 5. 30	法人職員 (評議員会選任)	法人理事 法人事務局長
評議員	田宮 由紀子	2017. 7. 25	2022. 5. 30	学識経験者 (理事会選任)	法人理事
評議員	小坂 拓	2017. 10. 11	2022. 5. 30	設立趣旨賛同者 (理事会選任)	法人理事
評議員	京極 高宣	2018. 8. 20	2022. 5. 30	設立趣旨賛同者 (理事会選任)	
評議員	中村 悦子	2018. 8. 20	2022. 5. 30	設立趣旨賛同者 (理事会選任)	長岡崇徳大学看護学 部学部長
評議員	横山 侑馬	2015. 4. 1	2022. 5. 30	卒業生 (理事会選任)	長岡看護福祉専門学 校同窓会会長
評議員	森 啓	2016. 5. 30	2022. 5. 30	法人職員 (評議員会選任)	長岡崇徳大学学長 法人常務理事

評議員	卷 瀧 隆 夫	2011. 5. 23	2022. 5. 30	法人職員 (評議員会選任)	上越看護専門学校 校長、法人理事
評議員	江 口 郁 子	2019. 9. 1	2022. 5. 30	法人職員 (評議員会選任)	崇徳厚生事業団 研究員
評議員	古 出 哲 彦	2022. 5. 30	2022. 5. 29	法人職員 (評議員会選任)	

(6) 2023 年度教職員の見込

長岡崇徳大学

(単位：人)

学部	教授	准教授	講師	助教	助手	合計	大学職員	法人職員
看護学部	8	2	7	8	4	29	15	8

上越看護専門学校

(単位：人)

学科	校長	副校長	教務主任	教員	合計	-	職員
看護学科	1	1	1	8	11	-	5